

<住民登録>

9月1日現在

人口 78.454

(男 37 720)
(女 40 734)

世帯数 18.799

おおだて

編集と発行—大館市役所
発行年月日—昭和43年10月1日
発行日—毎月1日
定価1部4円

昭和43年3月1日第3種郵便物認可



(旧市内の敬老会のもよう)

老人福祉週間は終わったが、今年も老人の日に各地で自殺者がでるなど、老人福祉の問題が大きく話題にのぼった。
本市でも例年にならって、七十才以上の老人をご招待し、各地区ごとに敬老会を催して、いささかではあったがその長寿をお祝いした。
福祉事務所の調べによると、市内には、九月十五日現在で七十才以上の老人の方が二、七八九人(うち九十才以上が二十二名)おります。
昭和三十年には一、二二八名で



もつと
長生きしてね!

あったのに比べると(そのご合併もあったが)約二・五倍にふえていることになり、食生活、医療技術の向上があったとはいえず、本当にうれいこと。
長い間、私たち郷土の発展につくすとともに、現在なお、私たちの良き助言者として活躍しているご老人に対して、私たちはもつと理解しなければならぬし、しあわせな老後をおくつていただくために、まず、家庭内で暖かくつんでやらねばならないと思う。
もつと、もつと長生きしていただくために……

市長、最高令者(畠山サキさん 羽生マキさん)を訪問

市内の最高令者は、釈迦内山神台の畠山サキさん(畠山定蔵方)と老人ホームの羽生マキさんで、いずれも明治8年生まれの93才です

9月21日の午後、市長はこのおふたりの長寿をお祝いするとともに、もつと長生きしていただくよう励ますため、おふたりを個別に訪問しました。

畠山サキさんは、目と耳が不自由のほかは記憶をはっきりしていました。とくにことばはハッキリしていて、市長が「おばあさんは何年生まれですか」という問に対して「ハイ

猪年ダス」とか市長からのプレゼントをいただいたときも、「ドウモ ドウモ、アリガインス」と大変元気でした。

羽生マキさんは、老人ホームのベッドで市長の訪問をうけましたが、やはり身よりのないさびしさからか、あまり元気はありませんでした。市長が羽生さんの手をにぎりながら話かけても、ただうなづくだけで、ことばになりませんでした。その表情は感謝きっていました。

なお、おふたりの長寿に対しては市長から、毛布とタンゼンがおくられました。

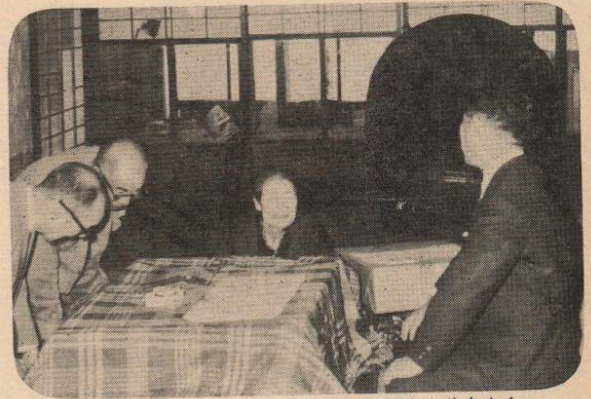


写真 畠山サキさん

「市民学校」を開設します

日常生活や職場のお仕事にすぐ役立てていただくよう、始めての市民学校を開きます。人員に制限がありますので、お早や申し込みください。

- 課目一定員は各科目とも40名
 - (1) 騰写科 (2) ペン習字科
 - (3) 家庭大工科 (4) 手芸(あみもの)科

● 期間と時間
昭和43年10月24日～11月28日まで
毎週火曜、木曜の11日間 19時～21時まで
ただし、手芸科は11月1日～12月20日間、毎日行ないます(土曜、日曜、祭日を除く)
時間は10時～15時まで

● 場所—中央公民館、青少年ホーム
● 受講料—1入200円 申し込みと同時に納入すること。

● 申込方法
教育委員会にある申請書に200円をそえて、教育委員会社会教育課または中央公民館に申し込みのこと。

● 申込受付開始
10月1日から受け付けしていますが、各科目の先着40名でしめ切らせていただきます。



羽生マキさん

(70才になると)

老令年金がもらえます

老令福祉年金は70才以上のおとしよりに国から支給される年金です。

現在の年金額は、年額1万9,200円ですが、43年の10月分からは年額2万400円に引き上げられます。この年金は70才になればだれでも年金を受ける権利がありますが、ただ、ある程度生活にゆとりのある人たちや、公的年金、恩給を受けている人には、ご遠慮願うことになっていきます。

とにかく、70才になった人は一応市の国民年金係に電話でも結構ですからお問い合わせください。